

< 参 考 >

ベトナムの電力事情

1. ベトナムと当社の比較

	ベトナム全体	東京電力
発電設備	851万kW	6,266万kW
水力	412万kW(48%)	852万kW(13%)
火力	439万kW(52%)	3,683万kW(59%)
原子力	-	1,731万kW(28%)
発電電力量	266億kWh	2,337億kWh
最大電力	655万kW(2002.11)	6,430万kW(2001.7)
販売電力量	224億kWh	2,760億kWh

(ベトナム：2002年12月末、当社：2003年度末)
ベトナムの発電電力量および販売電力量は2000年末の値

2. ベトナム電力公社について

ベトナム電力公社は、政策の企画立案を担当する工業省の管轄下で、発電、送電および配電を一貫して運営している。具体的には、ベトナム電力公社が、直轄企業（発電所、給電指令所、地域送電会社4社）を通じて全国の発送電事業を行い、傘下の独立採算組織である地域配電会社7社に電力を卸売りしている。

3. 電力需要

順調なベトナム経済を反映して、販売電力量は1995年には112億kWhであったが、2000年には224億kWhを記録した。（年平均伸び率約15%）

4. 電力業界の今後の方向性

ベトナムは、全域に水力資源、北部に石炭、南部に石油・ガス資源がある上、国内で電力が不足した場合には、隣接したラオス、カンボジアから融通を受けやすい環境にある。しかし、高い需要の伸びを背景に、エネルギー政策が重要であるとの認識のもと、地方電化マスタープランなど数多くのプランが策定されており、現在自由化を含めた電力セクター改革の柱となる電気事業法の制定作業を工業省が実施中である。

以 上